

教科	国語	単元名	私と本
----	----	-----	-----

## 本時のねらい

- ・自分が選んだ本から、関連するテーマについて考えることができる。
- ・友だちと考えを共有しながら、広くテーマを考えることができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートスクールの思考ツールを使用することで、複数の情報を整理しやすくする
- ・ロイロノートスクールの共有ノートを使用することで、他者の考えを参考にしたり、交流しやすくなりたりする。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・プロジェクタ
- ・スクリーン

## 本時の展開

## 本時で育む主な情報活用能力

F-STEP2, G-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (8分)	○本時の活動について知る。 「自分が選んだ本が、どのようなテーマを持っているか考えよう。」	・ブックトークの概要についてスライドにまとめ、提示しながら説明する。
展開 (32分)	○思考ツール「ウェビング」を使って、自分が選んだ本に関連するテーマをロイロノートスクールのシート内のカードに書き出す。【写真1】  ・選んだ本の中心となるテーマを考えたり、関連するテーマのカード同士をつなげたりすることで、本のあらすじがシートから読み取れるようにする。  ・回答共有機能を使って友だちの考えを知り、自分の考えに付け加えるものがあれば付け加える。	・共有ノート上で各自が作業を行うことで、テーマを書き出す際に友だちのシートを参照し、関連するテーマを考えることができる。
まとめ (5分)	・自分の選んだ本とテーマが共通する本がないか、友だちのシートを見て考える。【写真2】 ・自分の選んだ本とどの本が、どんなテーマで共通しているか全体で発表する。【写真3】  ・次時の活動について知らせる。 「グループに分かれて、ブックトークの準備をしよう。」	・提出されたシートを共有できるようにし、自分のシートと友だちのシートを見比べる。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】本のテーマを書き出した提出物



【写真2】友だちのシートを見て考えるようす



【写真3】テーマが共通する本について、全体で発表しているようす

## 児童生徒の反応や変容

- ・児童が、自分の端末から作成中の他者のウェビングを見ることができるため、作成の参考にしていた。
- ・共通するテーマごとにグループで分かれて発表内容を考える際、本時のシートをすぐに見返して話し合うことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ロイロノートスクールの思考ツールを使うことで、前時に作成したカードをそのままコピーしてブックトークの原稿づくりに活用することができた。
- ・図書館の本の分類のしかたについておさえておくことで、本のテーマを記入しやすくなった。